

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 平成29年6月度 番組審議会概要

平成29年6月8日（木）
14時00分～15時00分
テレビ静岡本社 3階 会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 中野 友章

— 議 題 —

番組名 「爆笑問題の深海 WANTED」
～ニューカレドニアで世界初の快挙！連発SP～

放送日時 平成29年5月21日（日）16時00分～17時20分
全国28局ネット 【本編は16時05分～】

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

2年連続で希少な深海生物を捕獲・展示してきた『深海 WANTED』の第3弾。今年は、世界と日本、2つの海域で超レア生物をWANTED、天国に一番近い島といわれる「ニューカレドニア」で、固有の深海生物「オオベソオウムガイ」と「ニューカレドニアオオグソクムシ」の捕獲を目指した。そこでは世界初、深海500mで、カメラが驚くべき生態の撮影に成功した。一方、駿河湾ではお笑いコンビ・三四郎が、特異な形態をした超レア深海サメの捕獲に挑戦した。出演は、爆笑問題、田中直樹(ココリコ)、いとうあさこ、石垣幸二(監修・沼津港深海水族館館長)、新川優愛、他。

— 審議概要 —

- ◎深海生物の不思議をテーマに、捕獲して展示するプロセスがわかりやすい番組だった。
- ◎予告・導入・各地の紹介と構成がよく、興味をそそられた。
- ◎希少価値をきちんと説明して見せる手法が、番組として完成の域に達している。
- ◎オオベソオウムガイが群れになっている映像は、美しく迫力がありソクソクした。もっと長く観ていたい（海中の映像に力を強く感じた・音楽ともマッチしていた）。
- ◎ニューカレドニアの水族館の人たちが映像を見て、驚いたり抱き合ったりしているシーンが感動的であった（現地の人に評価してもらった・カメラを入れた判断）。
- ◎深海生物に詳しい石垣館長の情熱が伝わってきて、回を重ねるごとに好きになる。
- ◎海溝図が説明に使われていてわかりやすかった。
- ◎田中直樹さんが深海生物の情報に詳しく面白かった（もっと沢山出て欲しかった）。
- ◎オオベソオウムガイの捕獲が禁止されている中、日仏共同プロジェクトとして、許可を得た過程を知りたい（もっと詳しく説明して欲しかった）。
- ◎駿河湾のシークエンスはあまり良くなかった。ニューカレドニアをもっと長くした方がよい（2つに分けた方がよい）。
- ◎冒頭での司会者のコメントはふざけ過ぎて邪魔な感じがした。
- ◎ニューカレドニアという南太平洋の美しい街をなぜ紹介しないのか。
- ◎コーナータイトルの「禁断の海」「快拳連発」など、煽る表現をし過ぎて不快。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は平成29年7月13日（木）の予定です。